

【目的】

子育ての支援関係の活動や団体における様々な課題を共有し、参加者同士が新たな関係性を構築しながら課題解決のヒントを見つけることを目的とし開催。

【内容】

- ①理念共有の機会
- ②関わる人の強みが活動とどうつながるか、その工夫と失敗を事例をもとに紹介
- ③まち全体の子育てに「あったらいいな」を共有しあうことで他団体とつながる
- ④実現に向けて組織や個人の強みがどうまちの課題解決につながるか

参加者どうしで知るワーク開催。

組織や団体内だけで解決できない悩みや工夫を、
他団体の方々と共有しあうことで、新たな関係性が地域の中で生まれました。

【参加者】 小田原市近郊の子育て支援関係者（民生委員児童委員協議会・
NPO法人・スクールコーディネーター・こども食堂運営者 など）

【講座担当者】 第3回 副代表 北本若葉

第4回 居場所づくりコーディネーター多田香菜



開催の様子

comachi
plus



こまちぷらすの活動における
工夫や失敗の事例紹介

軸のブレない強い組織とは
組織のゴールは何ですか？～組織の理念・ミッション～



Copyright (C) Comachiplus. All Rights Reserved.

25

課題共有目的

「地域の課題」を共有する
→当事者や支援関係者、立場を超
えて一緒に見る
他人事から自分事へ



Copyright (C) NPO法人こまちぷらす. All Rights Reserved.

37

当日のスライド(一部)

Copyright (C) NPO法人こまちぷらす. All Rights Reserved.

チームを作り、子育ての「あったらいい
な」と「困った」を結びつけるワーク。



第3回の流れ (副代表北本パート)

- ①こまちぷらすの事例を知る
- ②メンバーを知るワーク
- ③チーム名を決める
- ④『こうなつたらいいな！小田原の子育て』
というテーマでアイデアをフセンに書き出す
- ⑤チームごとに発表

理念共有
相互理解

- ①こまちぷらすの事例～あったらいいな×地域課題
- ②ワーク：前回の続き
「子育てのあったらいいな」×「こまった」×強味
～休憩～
- ③こまちぷらすの事例～失敗と工夫～
- ④ワーク：自団体のありたい活動と課題について
- ⑤感想